

第44回 一宮市地域公共交通会議

日時：2025年1月24日（金）午前9時30分～

場所：オリナス一宮 3階 多目的ホール

議 事 次 第

1 開会

2 議題

- | | | |
|---|--------|-------|
| (1) 市内バス路線の利用実績について | 《報告事項》 | 【資料1】 |
| ① iーバス | | |
| ② 一宮・イオン木曾川線 | | |
| ③ iーバスミニ | | |
| ④ 市内バス路線 | | |
| (2) 令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)事業評価について | 《報告事項》 | 【資料2】 |
| (3) 第3次一宮市公共交通計画の事業実施状況について(中間報告) | 《報告事項》 | 【資料3】 |
| ① iーバス木曾川・北方コースの見直しについて | | |
| ② iーバス尾西北コースの見直しについて | | |
| ③ 光明寺線、丹陽線の延伸に向けての協議の状況について | | |
| ④ 一宮おでかけバス手形の取扱いについて | | |
| ⑤ 一宮市版MaaSサイト「イッテミーヤ」について | | |
| ⑥ 新たな移動手段導入に向けたルールづくりについて | | |
| (4) 一宮市バス運行業務事業者選定結果について | 《報告事項》 | 【資料4】 |
| (5) デジタルチケット導入に伴う、市役所窓口での紙券販売の中止について | 《報告事項》 | 【資料5】 |
| (6) 『小中学生 iーバス無料ホリデー』の実施について | 《報告事項》 | 【資料6】 |

3 その他

- | | | |
|----------------------------|--|-------|
| (1) iーバス木曾川・北方コースの迂回運行について | | 【資料7】 |
|----------------------------|--|-------|

4 閉会

市内バス路線の利用実績

市内バス路線の令和元年度から令和6年12月までの利用実績は以下のとおりです。

※比較は4～12月の合計値に基づく結果です。

① i-バス 《資料1-①》

R5年の同月(4月～12月)比は約107%であり増加している。R1年の同月比は約93%で、なお、コース毎の詳細は以下のとおり。

【一宮コース】

R5年の同月比は113%であり、一宮西病院の乗降が増加している。なお、R1年の同月比は94%である。

【尾西北コース】

R5年の同月比は106%であり、一宮西病院の乗降が増加している。スーパーがある仁井西や郷北の乗降が多い。なお、R1年の同月比は104%であり、コロナ禍前まで回復している。

【尾西南コース】

R5年の同月比は104%である。富田団地の乗降が増え、一方で、尾西記念病院の後継施設である、一宮医療療育センターの乗降が減少している。なお、R1年の同月比は86%である。

【木曾川・北方コース】

R5年の同月比は109%である。R5年1月から昨年度までに木曾川町連区と北方町連区でそれぞれ3回住民懇談会を実施し、i-バスに対する住民の意識が高まったと考えられる。なお、R1年の同月比は80%である。

【千秋町コース】

R5年の同月比は108%と増加しており、千秋東小学校の近くにある平松不動産の乗降が増えている。なお、R1年の同月比は96%である。

【大和町・萩原町コース】

R5年の同月比は97%であり、豊島台やニュータウン西などの住宅地での乗降が減少している。なお、R1年の同月比は91%である。

② 一宮・イオン木曾川線 《資料1-②》

R5年の同月比は109%と増加している。なお、R1年の同月比は107%である。

③ i-バスミニ 《資料1-③》

R5年の同月比は143%であり、12月時点で昨年度の人数を超えている。しかし、R1年の同月比では37%にとどまっている。

④ 市内バス路線 《資料1-④》

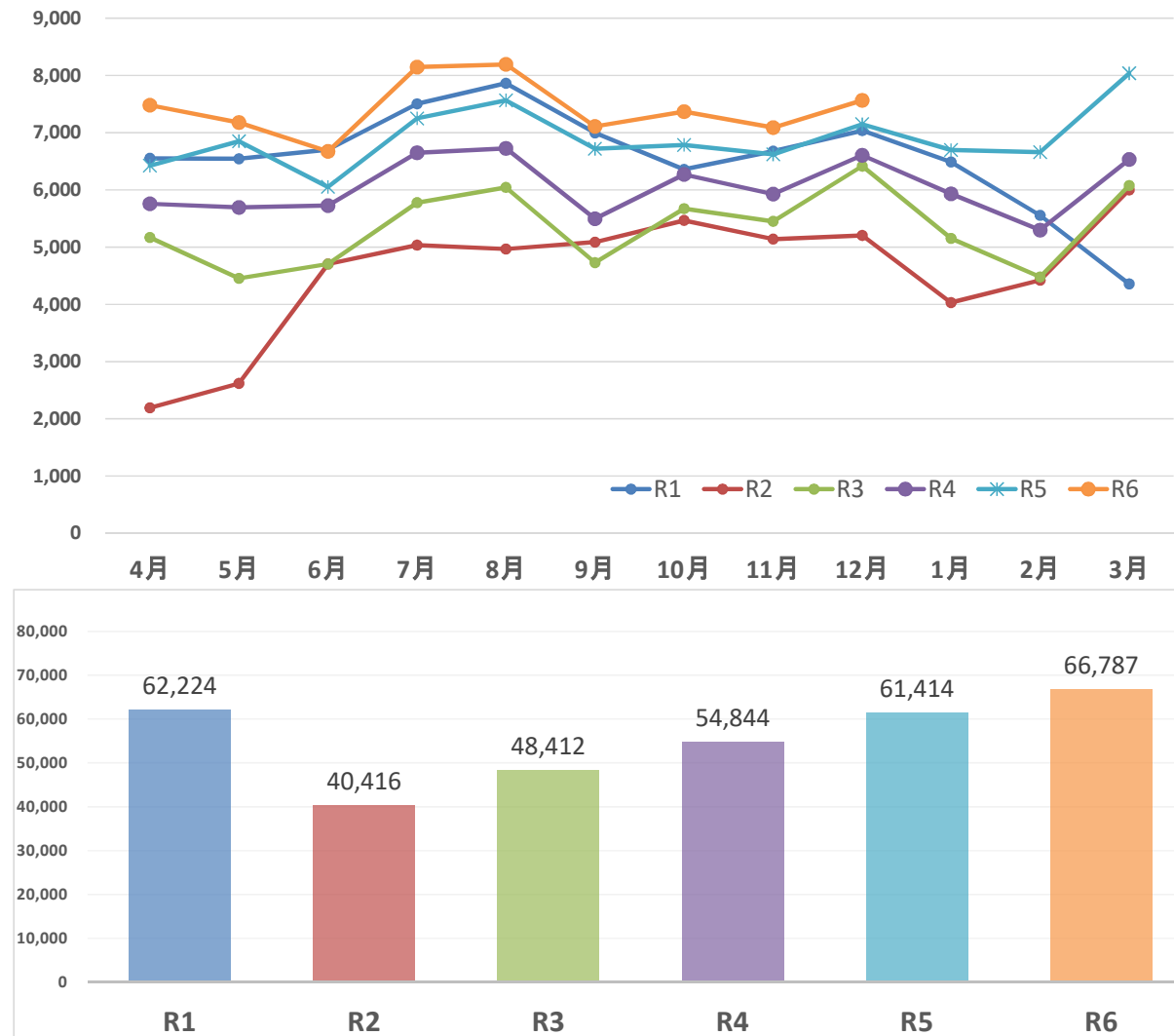
R5年の同月比は100%、R1年の同月比は89%にとどまっている。

i バス利用者数推移 (※棒グラフは4~12月の期間による比較です。)



「一宮・イオン木曽川線」利用者数

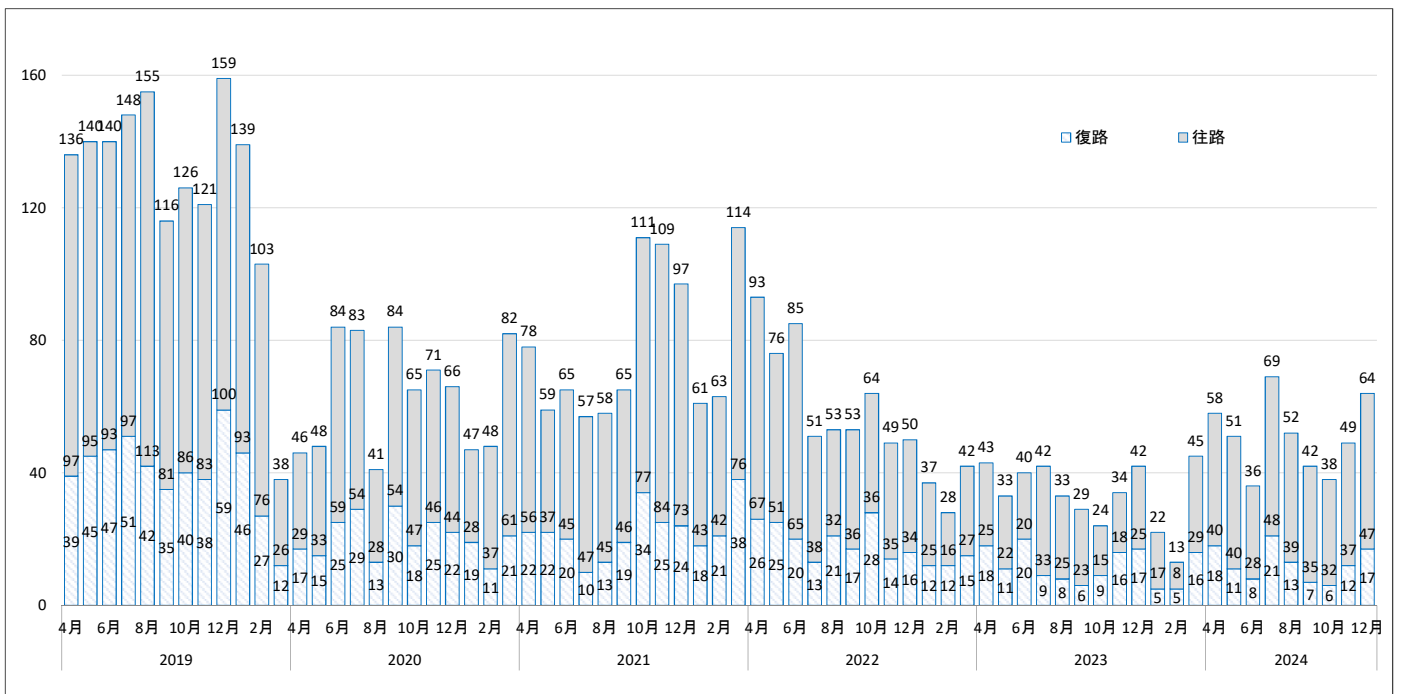
上段：月別推移 下段：年度別推移（4月～12月計）



年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	昨年比	R1比
4月	6,551	2,192	5,168	5,757	6,424	7,480	116.4%	114.2%
5月	6,545	2,619	4,454	5,694	6,852	7,175	104.7%	109.6%
6月	6,700	4,705	4,705	5,723	6,052	6,671	110.2%	99.6%
7月	7,502	5,036	5,776	6,647	7,249	8,146	112.4%	108.6%
8月	7,864	4,966	6,043	6,726	7,566	8,192	108.3%	104.2%
9月	6,996	5,086	4,727	5,495	6,716	7,109	105.9%	101.6%
小計	42,158	24,604	30,873	36,042	40,859	44,773	109.6%	106.2%
10月	6,356	5,467	5,672	6,270	6,787	7,365	108.5%	115.9%
11月	6,676	5,141	5,451	5,927	6,620	7,087	107.1%	106.2%
12月	7,034	5,204	6,416	6,605	7,148	7,562	105.8%	107.5%
1月	6,489	4,029	5,151	5,929	6,695			
2月	5,556	4,420	4,478	5,298	6,662			
3月	4,358	6,001	6,077	6,533	8,036			
小計	36,469	30,262	33,245	36,562	41,948	22,014	52.5%	60.4%
合計	78,627	54,866	64,118	72,604	82,807	66,787	80.7%	84.9%
4月～12月の合計	62,224	40,416	48,412	54,844	61,414	66,787	108.7%	107.3%

	2019年度			2020年度			2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			前年比 (合計)	参考 2019年 度比 (合計)
	往路	復路	合計	往路	復路	合計	往路	復路	合計	往路	復路	合計	往路	復路	合計	往路	復路	合計		
4	97	39	136	29	17	46	56	22	78	67	26	93	25	18	43	40	18	58	134.9%	42.6%
5	95	45	140	33	15	48	37	22	59	51	25	76	22	11	33	40	11	51	154.5%	36.4%
6	93	47	140	59	25	84	45	20	65	65	20	85	20	20	40	28	8	36	90.0%	25.7%
7	97	51	148	54	29	83	47	10	57	38	13	51	33	9	42	48	21	69	164.3%	46.6%
8	113	42	155	28	13	41	45	13	58	32	21	53	25	8	33	39	13	52	157.6%	33.5%
9	81	35	116	54	30	84	46	19	65	36	17	53	23	6	29	35	7	42	144.8%	36.2%
小計	576	259	835	257	129	386	276	106	382	289	122	411	148	72	220	230	78	308	140.0%	36.9%
10	86	40	126	47	18	65	77	34	111	36	28	64	15	9	24	32	6	38	158.3%	30.2%
11	83	38	121	46	25	71	84	25	109	35	14	49	18	16	34	37	12	49	144.1%	40.5%
12	100	59	159	44	22	66	73	24	97	34	16	50	25	17	42	47	17	64	152.4%	40.3%
1	93	46	139	28	19	47	43	18	61	25	12	37	17	5	22					
2	76	27	103	37	11	48	42	21	63	16	12	28	8	5	13					
3	26	12	38	61	21	82	76	38	114	27	15	42	29	16	45					
小計	464	222	686	263	116	379	395	160	555	173	97	270	112	68	180	116	35	151	83.9%	22.0%
合計	1,040 68.4%	481 31.6%	1,521	520 68.0%	245 32.0%	765	671 71.6%	266 28.4%	937	462 67.8%	219 32.2%	681	260 65.0%	140 35.0%	400	346 75.4%	113 24.6%	459	114.8%	30.2%

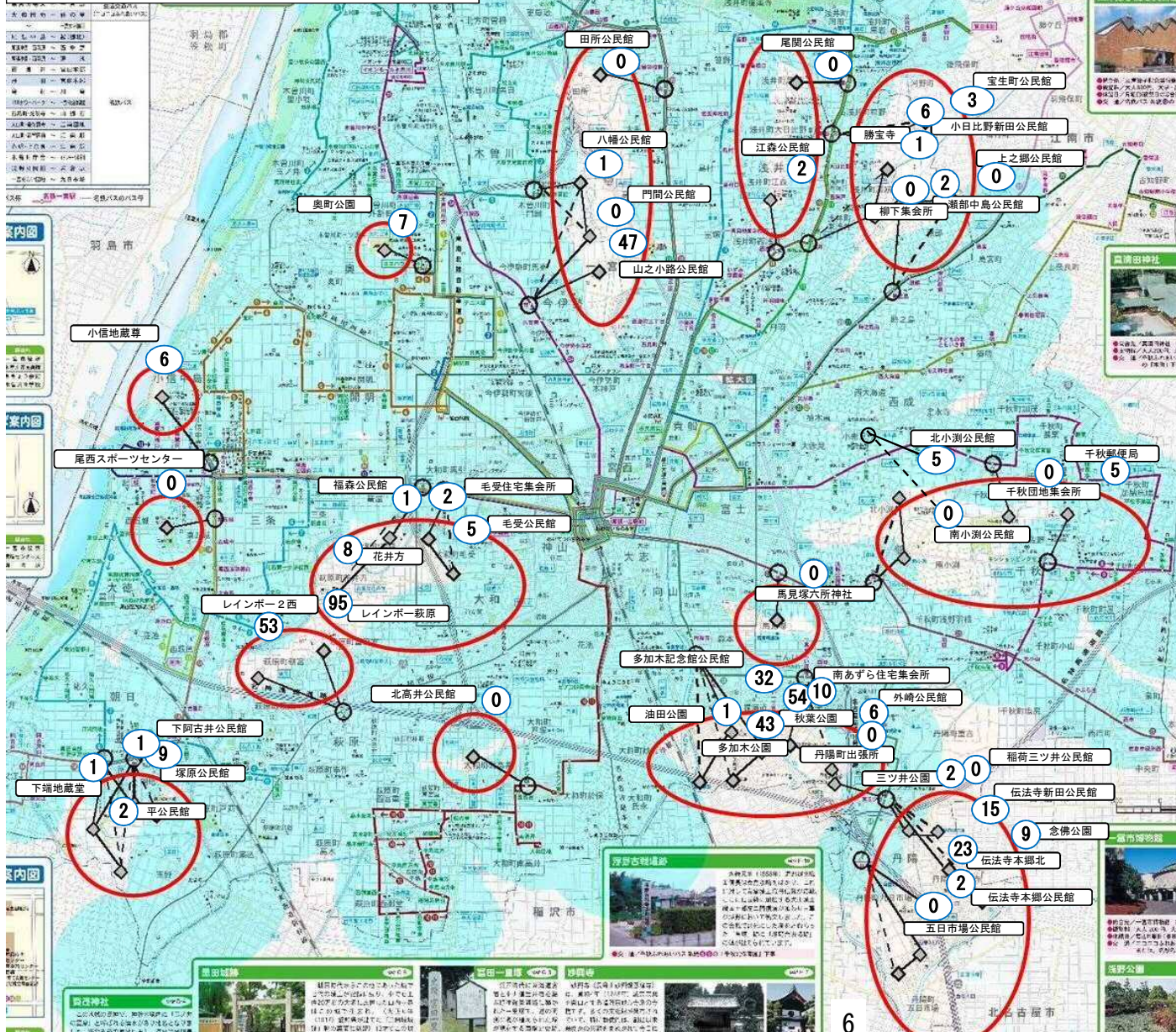
4月~ 12月の 合計	845 (68.1%)	396 (31.9%)	1,241	394 (67.0%)	194 (33.0%)	588	510 (73.0%)	189 (27.0%)	699	394 (68.6%)	180 (31.4%)	574	206 (64.4%)	114 (35.6%)	320	346 (75.4%)	113 (24.6%)	459
-------------------	----------------	----------------	-------	----------------	----------------	-----	----------------	----------------	-----	----------------	----------------	-----	----------------	----------------	-----	----------------	----------------	-----



i-バスミニ二停留所別利用状況 (2024.4~2024.12)

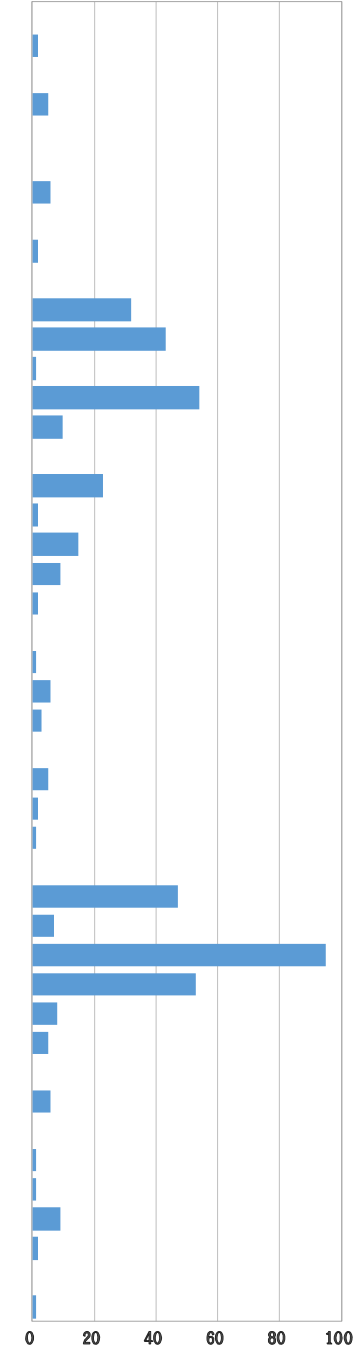
○ は、利用者のあった停留所

※ ○内の数字は、乗車・降車人数の計



2024.4~2024.12

i-バスミニ二停留所	利用者数
業 栗 田所公民館	0
西 成 瀬部中島公民館	2
上之郷公民館	0
北小湫公民館	5
南小湫公民館	0
馬見塚六所神社	0
丹陽町 外崎公民館	6
福荷三ツ井公民館	0
三ツ井公園	2
丹陽町出張所	0
多加木記念館公民館	32
多加木公園	43
油 田 公 園	1
秋 葉 公 園	54
南あずら住宅集会所	10
五日市場公民館	0
伝法寺本郷北	23
伝法寺本郷公民館	2
伝法寺新田公民館	15
念 佛 公 園	9
浅 井 江 森 公 民 館	2
柳下集会所	0
勝 宝 寺	1
小日比野新田公民館	6
宝生町公民館	3
尾 関 公 民 館	0
大和町 毛受公民館	5
毛受住宅集会所	2
福 森 公 民 館	1
北高井公民館	0
今伊勢町 山之小路公民館	47
奥 町 奥 町 公 園	7
萩原町 レインボー萩原	95
レインボー西	53
花 井 方	8
千 秋 町 千 秋 郵 便 局	5
千 秋 団 地 集 会 所	0
小 信 小 信 地 蔵 尊	6
大 徳 尾 西 スポーツセンター	0
朝 日 下 端 地 蔵 堂	1
下阿古井公民館	1
塚 原 公 民 館	9
平 公 民 館	2
木曾川町 門 間 公 民 館	0
八 幡 公 民 館	1
計	459



一宮市内バス路線利用者数（4月～3月）

上段：年度計
下段：4～12月計

路線名		輸送人員（人）						前年度比 （%） （4～12 月）	R1年度比 （%） （4～12 月）	割合 （%）
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
路 線 バ ス	起	1,323,290	964,337	1,022,364	1,153,357	1,255,922	—	101.2%	94.5%	28.6%
		1,026,048	729,220	775,128	879,223	958,222	969,731			
	一宮・川島	398,891	292,153	320,730	352,572	367,998	—	101.3%	91.9%	8.4%
		310,616	221,381	245,123	269,034	281,813	285,364			
	一宮・岩倉	886,333	654,539	701,613	773,282	809,367	—	99.5%	89.2%	18.1%
		690,028	495,455	535,513	587,108	618,788	615,801			
	古知野	955,174	701,367	740,651	763,572	784,618	—	97.1%	77.2%	17.0%
		748,956	528,451	569,352	580,053	595,275	578,113			
	一宮・宮田	574,719	395,557	424,950	481,708	509,917	—	98.6%	86.2%	11.4%
		448,468	301,010	325,878	366,140	392,226	386,728			
	江南団地	86,067	43,988	46,740	49,604	54,436	—	104.9%	64.2%	1.3%
		67,277	33,117	35,621	37,937	41,177	43,207			
	丹陽	187,398	132,171	148,144	171,299	189,615	—	101.3%	99.4%	4.3%
		146,148	99,738	112,663	128,922	143,481	145,308			
	光明寺	133,137	90,616	99,923	117,931	130,446	—	111.9%	106.5%	3.3%
		104,676	68,712	76,692	90,162	99,634	111,452			
深夜バス 起	4,977	30	—	—	—	—	—	—	—	
	3,886	30	—	—	—	—				
深夜バス 宮田	3,160	20	—	—	—	—	—	—	—	
	2,533	20	—	—	—	—				
一宮・イオン木曾川	78,627	54,866	64,118	72,604	82,807	—	108.7%	107.3%	2.0%	
	62,224	40,416	48,412	54,844	61,414	66,787				
計	4,631,773	3,329,644	3,569,233	3,935,929	4,185,126	—	100.3%	88.7%	94.3%	
	3,610,860	2,517,550	2,724,382	2,993,423	3,192,030	3,202,491				
i ー バ ス	一宮コース	93,278	59,382	66,861	71,986	82,548	—	112.7%	93.8%	2.1%
		74,898	44,720	51,009	54,759	62,350	70,253			
	尾西北コース	20,140	14,191	16,910	19,012	21,274	—	104.1%	106.3%	0.5%
		15,939	10,666	12,952	14,443	16,269	16,939			
	尾西南コース	38,156	28,391	32,114	32,956	32,626	—	103.7%	86.0%	0.7%
		29,518	21,266	24,604	25,242	24,480	25,374			
	木曾川・北方コース	20,308	12,688	13,145	12,909	16,243	—	108.6%	80.3%	0.4%
		16,111	9,631	10,400	9,780	11,911	12,934			
	千秋町コース	42,990	29,548	35,247	37,860	40,770	—	107.6%	96.0%	1.0%
		34,019	22,201	26,434	28,627	30,337	32,647			
	大和町・萩原町コース	46,369	30,719	34,352	38,144	45,809	—	97.2%	91.4%	1.0%
		36,864	23,185	25,998	28,535	34,664	33,700			
	計	261,241	174,919	198,629	212,867	239,270	—	106.6%	92.5%	5.7%
		207,349	131,669	151,397	161,386	180,011	191,847			
合計	4,893,014	3,504,563	3,767,862	4,148,796	4,424,396	—	100.7%	88.9%	100.0%	
	3,818,209	2,649,219	2,875,779	3,154,809	3,372,041	3,394,338				

※資料中の年度は、バス事業年度 (R6年度=R5.10月~R6.9月)

(参考) 国の補助金額の推移

コース	R2年度(うちコロナ増額分)	R3年度(うちコロナ増額分)	R4年度(うちコロナ増額分)	R5年度	R6年度
一宮・イオン木曽川線	4,930千円(2,113千円)	4,945千円(2,119千円)	4,113千円(1,654千円)	2,546千円	2,604千円
i-バス 一宮コース	6,893千円(2,208千円)	7,047千円(1,574千円)	3,521千円(0円)	3,628千円	3,712千円
i-バス 尾西南コース	6,070千円(1,401千円)	6,205千円(636千円)	6,090千円(1,177千円)	4,219千円	5,179千円
i-バス 木曽川・北方コース	4,288千円(2,826千円)	4,383千円(2,889千円)	1,925千円(900千円)	1,057千円	1,081千円

1. 年間利用者数 (R6年度 対目標)

コース	目標※	実績	達成率	達成状況の要因
一宮・イオン木曽川線	57,687人	76,310人	132.3%	新型コロナが5類感染症になり、コロナ禍前の社会活動に戻ったため
i-バス 一宮コース	65,826人	88,287人	134.1%	新型コロナによる外出控えの収束により、一宮コースでは、 一宮駅や一宮西病院、市民会館付近の停留所は乗降が多く 、特に医療機関への受診目的が前年度に比べて増加している
i-バス 尾西南コース	33,417人	33,101人	99.1%	萩原駅や尾西庁舎など他の交通機関への乗り継ぎ需要による利用増があったものの、 尾西記念病院が閉院し、医療療育センターへ移行 したことによる利用者減が大きい
i-バス 木曽川・北方コース	14,711人	16,929人	115.1%	JR木曽川駅やイオンモール木曽川最寄の北保健センター、総合体育館最寄の山郷西などで特に増加 しており、お出かけ需要の増加が考えられる

2. 経常収支率 (R6年度 対目標)

コース	目標※	実績	差	要因
一宮・イオン木曽川線	38.19%	40.97%	+2.78pt	人件費・燃料高騰、車両・施設等の更新により経常費用は増加したものの、R5.10月の運賃改定による経常収益の増加が大きい
i-バス 一宮コース	29.40%	33.93%	+4.53pt	人件費・燃料高騰、車両・施設等の更新により経常費用は増加したものの、利用者数の増加による経常収益の増加が大きい
i-バス 尾西南コース	13.10%	11.37%	-1.73pt	利用者数はほぼ横ばいで経常収益は微増だったものの、人件費・燃料高騰、車両・施設等の更新による経常費用の増加が大きい
i-バス 木曽川・北方コース	9.94%	9.13%	-0.81pt	利用者数の増加により経常収益は増加したものの、人件費・燃料高騰、車両・施設等の更新による経常費用の増加が大きい

※目標値は、国補助金を申請するための「R6年度 生活交通確保計画」(R5.4月に県へ提出)において、直近(R4年度)の経常収支率から1%改善するために必要な数値を算出したもの

3. 主要指標の推移について

○年間利用者数（人）

コース	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
一宮・イオン木曽川線	59,145	56,188	59,145	68,720	76,310
i-バス 一宮コース	70,871	63,597	70,822	76,459	88,287
i-バス 尾西南コース	32,306	30,875	33,038	32,398	33,101
i-バス 木曽川・北方コース	15,557	13,238	13,005	14,429	16,929

○平均乗車密度（人）

コース	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
一宮・イオン木曽川線	2.4	2.5	2.4	2.8	3.1
i-バス 一宮コース	2.9	2.6	2.9	3.2	3.6
i-バス 尾西南コース	4.0	3.8	4.0	3.8	4.0
i-バス 木曽川・北方コース	1.6	1.4	1.3	1.5	1.7

○輸送量（人）

コース	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
一宮・イオン木曽川線	25.2	26.2	25.2	29.4	32.5
i-バス 一宮コース	29.8	26.7	29.8	29.4	37.8
i-バス 尾西南コース	31.2	29.6	31.2	29.6	32.0
i-バス 木曽川・北方コース	14.0	12.3	11.4	13.2	15.3

○経常収支率（％）

コース	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
一宮・イオン木曽川線	36.44	37.19	35.32	41.07	40.97
i-バス 一宮コース	31.71	28.40	31.28	33.35	33.93
i-バス 尾西南コース	12.48	12.10	11.83	11.79	11.37
i-バス 木曽川・北方コース	9.71	8.94	8.00	8.89	9.13

4. 生産性を向上させる取組について

	R6年度 生活交通確保計画	取組実績
一宮・イオン木曽川線	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①GTFS化を図り多方面からの検索に応える ②商業施設でのチラシの配布 ③路線マップ、時刻表の配布 ④広報誌やHP等を活用したPRによる利用促進 ⑤系統ナンバリングの設定による利便性向上 <p>【実施主体】：一宮市、沿線商業施設、名鉄バス 【実施時期】：通年 【効果目標】：収支改善率1.00%</p>	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①HP、CentXなどのスマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供や、コンテンツプロバイダへのデータ提供を実施（名鉄バス） ②一宮市内及び近郊を運行する車両にイオンモール木曽川のチラシ・ポスターを掲載し、路線を周知（名鉄バス） ③-1ポケット時刻表の作成（名鉄バス） ③-2利用促進（バスマップの作成・1日乗車券の発行等）に向けた取組みを実施（一宮市） ④市ウェブサイトには運行情報や公共交通マップを掲載（一宮市） ⑤継続して系統図、時刻表等にナンバリングの表示を掲示して案内の実施。（名鉄バス） <p>ほか、期間限定で高齢者向けフリーパスの購入補助を実施（一宮市）</p>
i-バス (一宮コース、 尾西南コース、 木曽川・北方コース)	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市ウェブサイト、広報誌等の活用 ②一宮おでかけバス手形、一日乗車券、回数券販売による利用促進の実施 ③一宮市公共交通マップの配布 ④GTFS化による分かりやすい情報提供 ⑤バス乗り方教室等対面による利用促進の再開 <p>【実施主体】：一宮市 (バスの運行：名鉄バス(株)) 【実施時期】：通年 【効果目標】：収支改善率1.00%</p>	<p>【取組実績】（一宮市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市ウェブサイトにはi-バスの運行情報や公共交通マップ、運行実績等を掲載 ②一宮おでかけバス手形、一日乗車券、回数券をバス車内、一宮駅バスターミナルほかで販売 ③一宮市公共交通マップを公共施設での配布のほか、転入世帯向けに窓口配布 ④i-バス路線の情報をオープンデータ化(GTFS)し、グーグルマップに掲載し、運行情報を周知 ⑤市内の小中学校で3年生を対象にバス乗り方教室を実施、小中学生を対象に、春休み期間中に無料で何度も乗車できるフリーパスを配付

5. 今後の課題と取組について

	今後の課題	今後の取組
一宮・イオン木曽川線	<ul style="list-style-type: none"> ◆名鉄バス <ul style="list-style-type: none"> ・運転士不足の状況下、現状のダイヤ便数の確保を維持するためには従業員の処遇改善を図る必要がある。 ・現状のサービスを維持しつつ、利便性向上に努めるとともに、沿線市と一体となり利用者増加のため、新たな利用者発掘を目的とした利用促進策を実施する必要がある。 ◆一宮市 <ul style="list-style-type: none"> ・路線の利便性を地域住民をはじめ市民へ周知し、さらなる利用促進を図る必要がある。 ・シルバーパス65・ゴールドパス70のPR強化や一宮おでかけバス手形のチケット形態、販売方法、料金等の見直しを進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆名鉄バス <ul style="list-style-type: none"> ・継続してHP、スマートフォンでの路線・時刻検索、バスロケーションシステムの情報提供、コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券ゴールド・シルバーパスのPRを積極的に実施し、昼間帯の利用促進 ◆一宮市 <ul style="list-style-type: none"> ・バスマップの配布及び、「一宮おでかけバス手形」の発行を引き続き実施 ・「一宮おでかけバス手形」については、デジタルチケットでの販売も実施
iーバス (一宮コース、 尾西南コース、 木曽川・北方コース)	<p>«一宮コース» 利用者は増加傾向にあるが、コロナ影響前と比較すると1割弱減であり、引き続き利用促進が必要である。</p> <p>«尾西南コース» 利用者は微減し、コロナ影響前と比較すると1割強減が続いており、引き続き利用促進が必要である。</p> <p>«木曽川・北方コース» 慢性的な遅延と一方向の循環路線による乗車時間の不均一により、コロナ影響前と比較すると2割程度減少している。大型ショッピングセンターや鉄道駅の接続による利便性を引き続き周知し、利用促進に努める必要がある。</p>	<p>«全コース共通»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスマップの配布及び1日乗車券等企画切符発行を引き続き実施 ・高齢者や小学生向けにバスの乗り方教室等PRを実施 ・バスを利用した施設案内チラシ等の充実 ・小中学生を対象に、期間限定の無料フリーパスを配付 ・デジタルチケットの販売 <p>«木曽川・北方コース»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民懇談会等を行い、バス路線やダイヤの見直しを提案

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

一宮市地域公共交通計画の評価等結果（令和5年4月～令和6年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
市内のバスや鉄道などの公共交通網が充実していると思う人の割合： 35.4%(H29年度) →37.8%(R5年度)	公共交通マップ、時刻表の作成、市ウェブサイトや広報等による利用の周知、転入者へ公共交通マップを配布	市民3,000人を対象に実施した「市民の体感指標アンケート」結果	42.1%(R6.6公表) 一方で、「充実していると思わない」人の割合が44.8%と上回っており、公共交通網の更なる充実が必要	・目標は達成(目標値：37.8%) ・現状の公共交通ネットワークを維持しつつ、コミバス等の見直しを行い、更なる利便性の向上に努める	
市内バスの年間利用者数： 4,866千人(H29年度) →R4実績(4,148千人)以上(R5年度)	GTFSデータの情報更新、公共施設イベントのポスター車内掲示、民間事業者発行高齢者向け定期券購入費用の一部を負担	令和5年度利用統計より	4,424千人(R6.3時点) 利用者数は回復傾向にあるが、コロナ禍前と比較して90%程度に留まっており、更なるバス利用促進やコミバス路線の利便性向上が必要	・目標は達成(目標値：4,148千人) ・バス路線の維持に努めるとともに、利用者数や収支率の低いコミバス路線については、地域のニーズを調査し、見直しを行う。また、利用促進のためのPRに努める。	
交通不便地域の人口割合： 8.8%(H29年度) →0%(R5年度)	予約制乗合タクシーーバスミニを運行し交通不便地域の解消を図る	令和2年国勢調査人口等基本集計より	0.72%(R4.7時点) 医療機関、商業施設など鉄道駅やバス停留所接続以外のニーズが高く、接続先の増設が必要	・目標は不達成(0%) ・地域のニーズに合う停留所設置や、車両確保のための運用の見直し等、地域や事業者、学術研究機関と協働して計画的な見直しを行う	
一日券、回数券などの販売枚数： 21,200枚(H29年度) →R4実績(14,107枚)以上(R5年度)	バスで市内を巡る案内チラシの作成・配布、町内回覧や市ウェブサイトにて企画切符の周知	令和5年度利用統計より	15,072枚(R6.3時点) おでかけバス手形は、R元年度に7,800枚以上販売したものの、値上げをしたR2年度以降は2,000枚台を推移しており、利用可能範囲等の見直しなど利便性の向上が必要	・目標は達成(目標値：14,107枚) ・使い勝手の良い企画切符となるよう見直しを図るとともに、適正価格の調査のためアンケートを実施する ・チラシ等の配布先を拡大し、周知に努める ・デジタルチケットを販売し、利便性を高める	

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(○年○月～○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

第3次一宮市公共交通計画の事業実施状況について（中間報告）

資料 3

施策	事業	実施状況
施策Ⅰ 交通サービスレベルの確保	①質の高いサービスレベルの実現	・名鉄バス起線については、引き続き交通事業者と協議
	④i-バスの見直し	・木曽川・北方コースの見直しについては、資料3-①を参照 ・尾西北コースの見直しについては、資料3-②を参照 ・交通系ICカードについては、2025年度からi-バス全路線で使用可能予定
施策Ⅱ 交通ネットワークの再構築	②光明寺線の見直し	・資料3-③を参照
	③丹陽線の見直し	・資料3-③を参照
	⑤i-バスミニの見直し	・見直しに向けて、名古屋大学大学院と連携し素案を検討中
施策Ⅲ タクシー利活用に向けた環境整備	⑥タクシー運用の高度化・環境整備	—
施策Ⅳ 利用環境の整備	⑦交通拠点の機能強化	—
	⑧バリアフリー化の推進	—
施策Ⅴ 公共交通の利用促進	⑨お得で便利な乗車券の提供	 <p>・外出が必要な高齢者に対し、名鉄バス発行「シルバーパス65」「ゴールドパス70」の購入費用の一部を市が負担（1か月券あたり500円） R6年度実施期間：R6.4月～R7.2月末まで R6年度実績…382枚/月(R7.1.14時点)</p> <p>・一宮おでかけバス手形については、資料3-④を参照</p>
	⑩利用促進に係る情報提供・啓発活動	 <p>・i-バス・i-バスミニ、名鉄バス路線などを網羅した内容を中心に公共交通機関を掲載したマップ（一宮市公共交マップ）や時刻表を作成。市内の公共施設や商業施設に設置・配布するとともに、市窓口にて転入世帯に配付</p> <p>・バス乗車マナー教室…R6.12月実施（中島小学校）</p> <p>・バスロケーションシステムについては、2025年度からi-バス全路線で公開予定</p>
施策Ⅵ 新たな情報技術の活用	⑪MaaSアプリ等の情報技術の活用	・資料3-⑤を参照
施策Ⅶ 地域主体による新たな公共交通の構築	⑫地域協議会主体による新たな移動手段の導入	・資料3-⑥を参照
施策Ⅷ 持続可能な運行確保のための取組	⑬ドライバー確保に向けた取り組み	・市公式ウェブサイトにて周知（予定）

■コースの現状 (2023 (R5) 年度実績)

- ・運賃収入や年間利用者数、収支率がiーバス6コースの中で最も低い

コース名	運賃体系 ※小学生未満 無料	運行経費	運賃収入	協賛金収入	国補助収入	市負担額	年間利用者数	一乗車あたり市負担額	収支率
一宮コース	大人200円、小学生100円	55,064千円	14,841千円	0千円	3,628千円	36,595千円	82,548人	443円	27.0%
尾西北コース	100円	24,770千円	2,060千円	0千円	0千円	22,710千円	21,274人	1,068円	8.3%
尾西南コース	100円	26,526千円	3,177千円	0千円	4,219千円	19,130千円	32,626人	586円	12.0%
木曽川・北方コース	100円	23,310千円	1,703千円	0千円	1,057千円	20,550千円	16,243人	1,265円	7.3%
千秋町コース	大人200円、小学生100円	20,800千円	6,932千円	3,240千円	0千円	10,628千円	40,770人	261円	48.9%
大和町・萩原町コース	大人200円、小学生100円	22,800千円	7,501千円	712千円	0千円	14,587千円	45,809人	318円	36.0%

- ・地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の条件となる輸送量が、令和2～5年度まで4年連続で15を下回り、本来の補助対象条件を満たしていない (R2: 14.0、R3: 12.3、R4: 11.4、R5: 13.2)

■見直しの目的

利用者数（輸送量）の増加、収支率の向上

■見直しの方向性

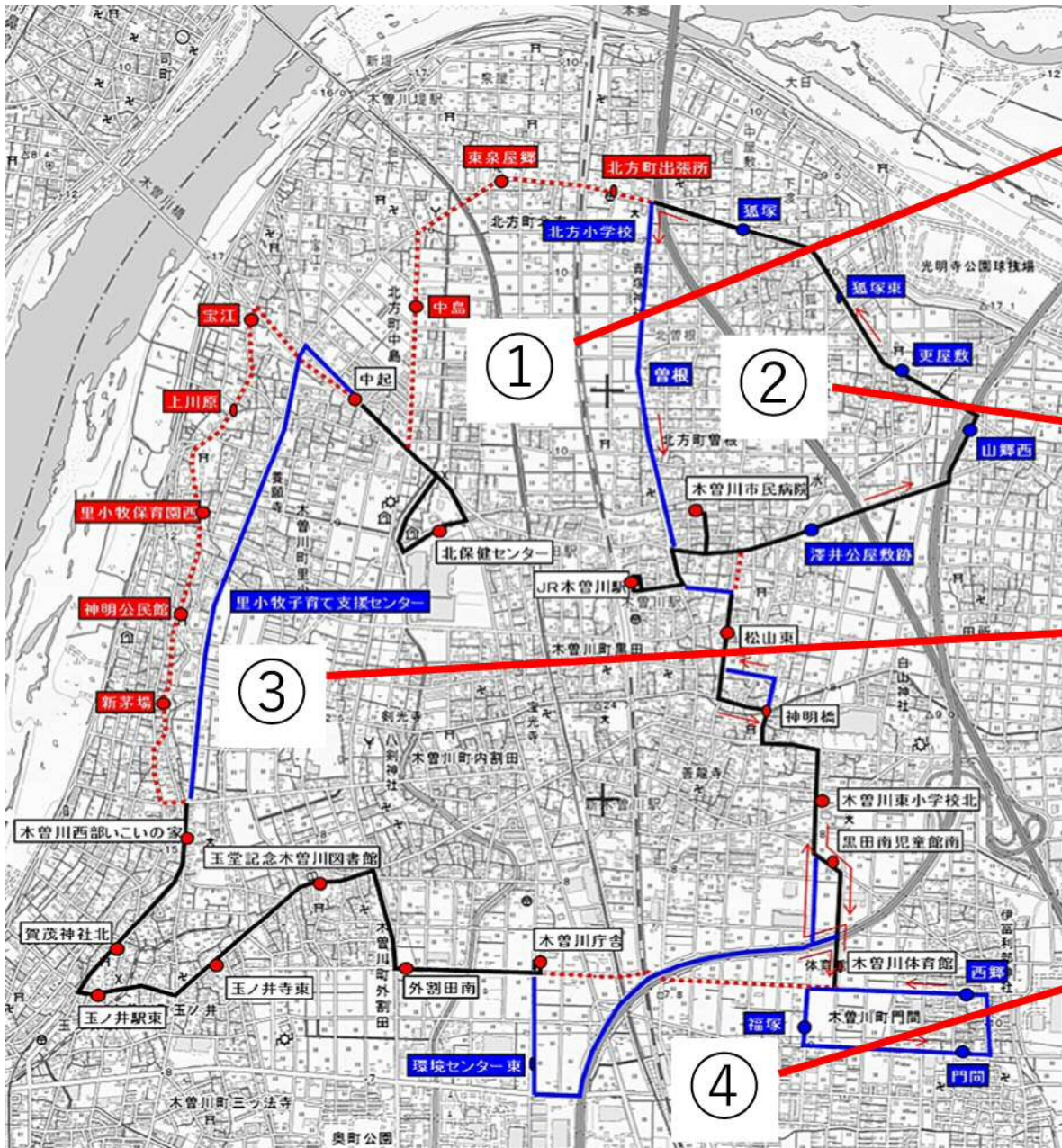
現在の1運行（一周）約70分の長大な片側周り循環コースの改善による利便性の向上
 （循環コースでは2点間移動に1周する必要があり、利便性が低い）

⇒往復コース＋一部小回りの循環コースを組み合わせることで改善（提案コース案は次ページ）

■住民懇談会の開催

- ・木曽川町連区：2024年11月23日（土） 10:00～12:00 木曽川公民館 研修室A 参加者数…13人
 ※（仮称）木曽川町連区交通協議会の会議に参加し、説明
- ・北方町連区：2024年11月23日（土） 14:00～16:00 北方公民館 大会議室 参加者数…18人

■提案したコース案 (.....線は廃止を見込んでいる経路)



● 現行からの主な変更点

- ① 往復コースにするため、「北保健センター停留所」で折り返し運行
⇒現在の運行ルート（赤）の廃止に伴い、中島、東泉屋郷、北方町出張所バス停を廃止
- ② JR木曾川駅から反時計回りに北方町連区東側を運行し、新設ルート（青）を南下
- ③ 現在の運行路線（赤）の県道（堤防道路）から新設ルート（青）の市道（旧電车道）に運行路線を変更
⇒利用の少ない新茅場～宝江の5バス停を廃止、里小牧子育て支援センターにバス停を設置
- ④ バス路線延伸の希望が多かった門間地区に路線を延長。併せて、運行路線（赤）の踏切を回避するため、新設ルート（青）の高架区間を運行

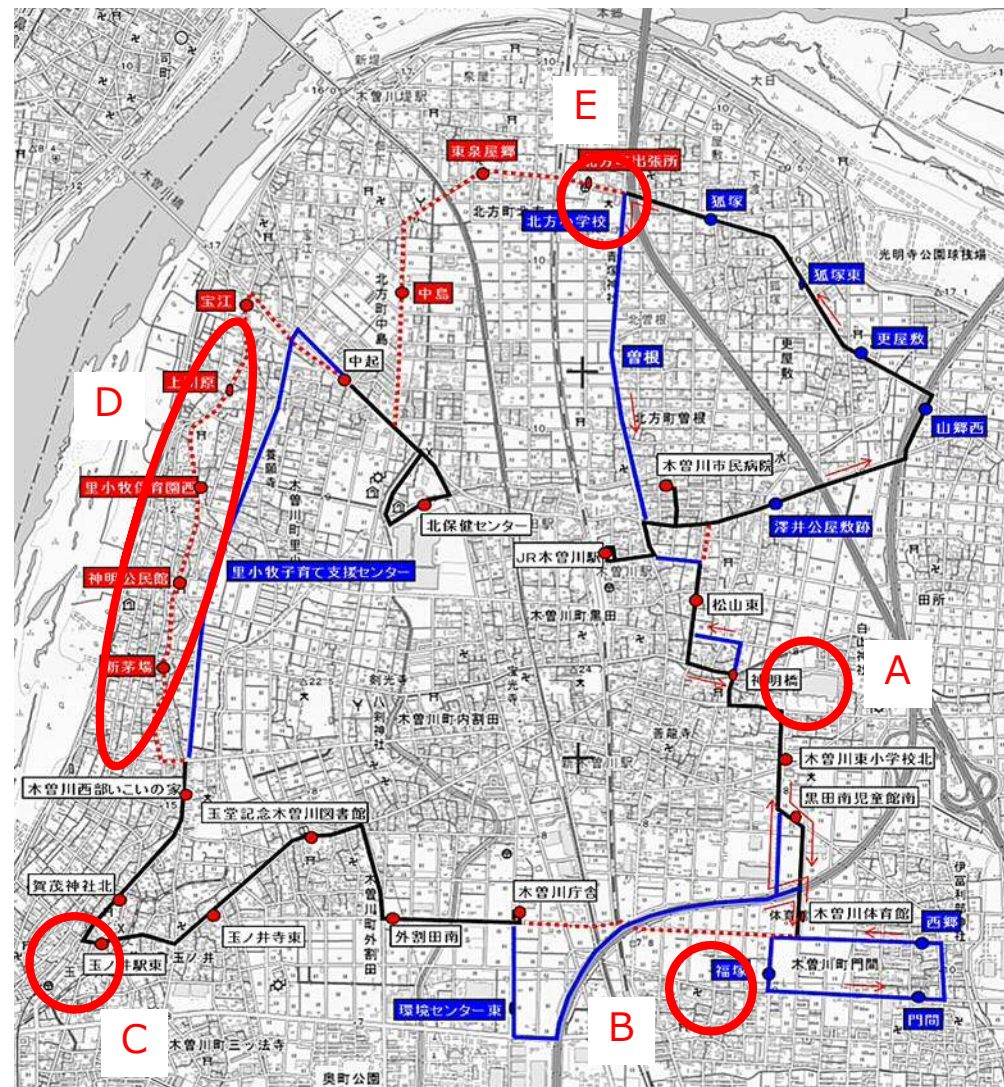
■意見交換による課題

○木曽川町

- ・アピタ木曽川店に停留所を置けないか (右図A)
- ・門間地区は、福塚公民館まで延伸できないか (右図B)
- ・玉ノ井駅東停留所が玉ノ井駅から離れているので、停留所に地図や案内図をつけてほしい (右図C)
- ・最終便の時間が早く感じる。19~20時台を最終便にできないか
- ・道路拡幅工事が来年3月に終わるので、里小牧の中堤防にバスを通せないか (右図D)
(⇒工事終了後バスが通れるのであれば検討)

○北方町

- ・バスをやめて、北方全域でi-バスミニを導入できないか。
例：全地区公民館を停留所にし、イオン木曽川、北方町出張所、平和堂、鉄道駅、バス停、木曽川市民病院を目的地
- ・北方町の東側は近くにスーパーがないためバスを残してほしいが、西側は徒歩圏内にスーパーがあり、バスを使わないと思われるので、よく考えられている案ではあるが、停留所にスーパーがないのは残念
- ・北方町出張所の停留所をなくし、北方小学校に停まるのであれば、横断歩道を設置しないと高齢者にとって危険 (右図E)



■今後について

○上記意見を参考に、名古屋大学や名鉄バスと協議しながらルート案等を修正し、下記のとおり住民懇談会にて意見交換を実施

- ・北方町：2025年1月29日（水）19:00～ 北方公民館 大会議室
- ・木曽川町：2025年2月8日（土）10:00～ 木曽川公民館 研修室A

○2026年4月から新ルートでの運行を目標に北方町・木曽川町と引き続き調整・協議を進める

■ コースの現状 (2023 (R5) 年度実績)

- ・ 運賃収入や年間利用者数、収支率が iーバス 6 コースの中で 2 番目に低い

コース名	運賃体系 ※小学生未満 無料	運行経費	運賃収入	協賛金収入	国補助収入	市負担額	年間利用者数	一乗車あたり市負担額	収支率
一宮コース	大人200円、小学生100円	55,064千円	14,841千円	0千円	3,628千円	36,595千円	82,548人	443円	27.0%
尾西北コース	100円	24,770千円	2,060千円	0千円	0千円	22,710千円	21,274人	1,068円	8.3%
尾西南コース	100円	26,526千円	3,177千円	0千円	4,219千円	19,130千円	32,626人	586円	12.0%
木曾川・北方コース	100円	23,310千円	1,703千円	0千円	1,057千円	20,550千円	16,243人	1,265円	7.3%
千秋町コース	大人200円、小学生100円	20,800千円	6,932千円	3,240千円	0千円	10,628千円	40,770人	261円	48.9%
大和町・萩原町コース	大人200円、小学生100円	22,800千円	7,501千円	712千円	0千円	14,587千円	45,809人	318円	36.0%

■ 見直しの目的

利用者数（輸送量）の増加、収支率の向上

■ 見直しの方向性

需要の多い尾西庁舎周辺や一宮西病院へのアクセス改善を優先し、かつパターンダイヤ（現コースでは尾西方面から一宮西病院へ行くのにエコハウス138を経由するため、バスの待機時間を跨ぐことになり大幅なタイムロスとなっている）

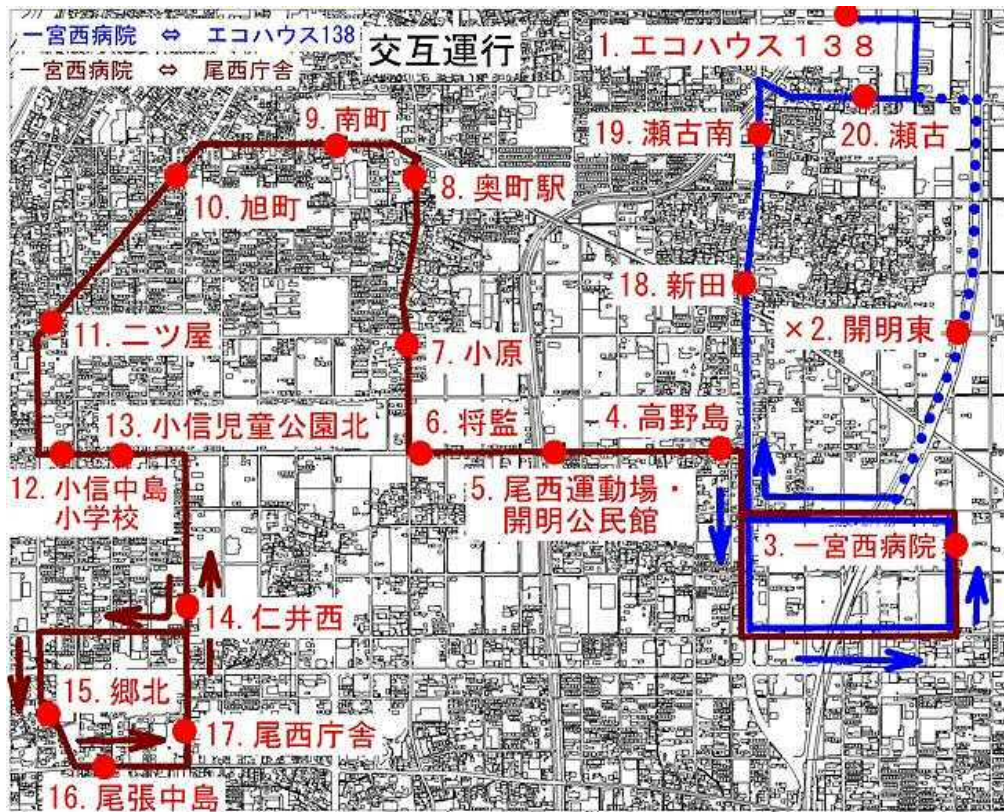
⇒エコハウス138を経由することなく、尾西庁舎周辺と一宮西病院の往復が可能なルートとして2案を作成（提案コース案は次ページ）

■ 住民懇談会の開催

- ・ 2024年12月15日（日） 10:00～12:00 尾西生涯学習センター 大ホール
 ※尾西北コースの沿線地域である開明、小信中島、三条、奥町の4連区を対象に実施
 参加者数…11人

■提案したコース案 (……線は廃止を見込んでいる経路)

案①一宮西病院を中継点とし、エコハウス138と尾西庁舎を往復 (エコハウス138⇨一宮西病院⇨尾西庁舎)



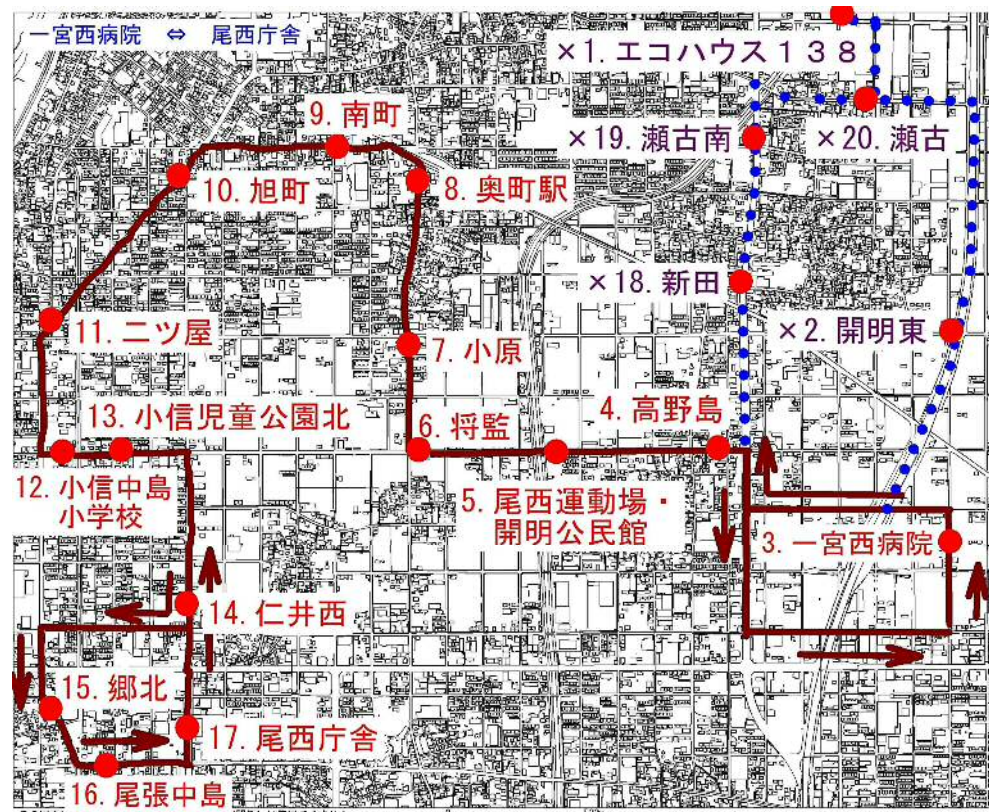
○メリット

- ・新田、瀬古南、瀬古バス停が往復運行。
- ・尾西方面から一宮西病院へのアクセス改善
- ・1便1時間半のパターンダイヤ、全便が尾西南コースと接続可能

○デメリット

- ・1便当たりの運行時間は長くなるため『減便』(2便減)
現行9便(1便約1時間10分)⇒変更案7便(1便1時間30分)
- ・尾西方面からエコハウス138へのアクセスは時間が掛かる

案②一宮西病院と尾西庁舎のみを往復 (乗降者の少ない名鉄尾西線の北側をカットし、一宮西病院⇨尾西庁舎)



○メリット

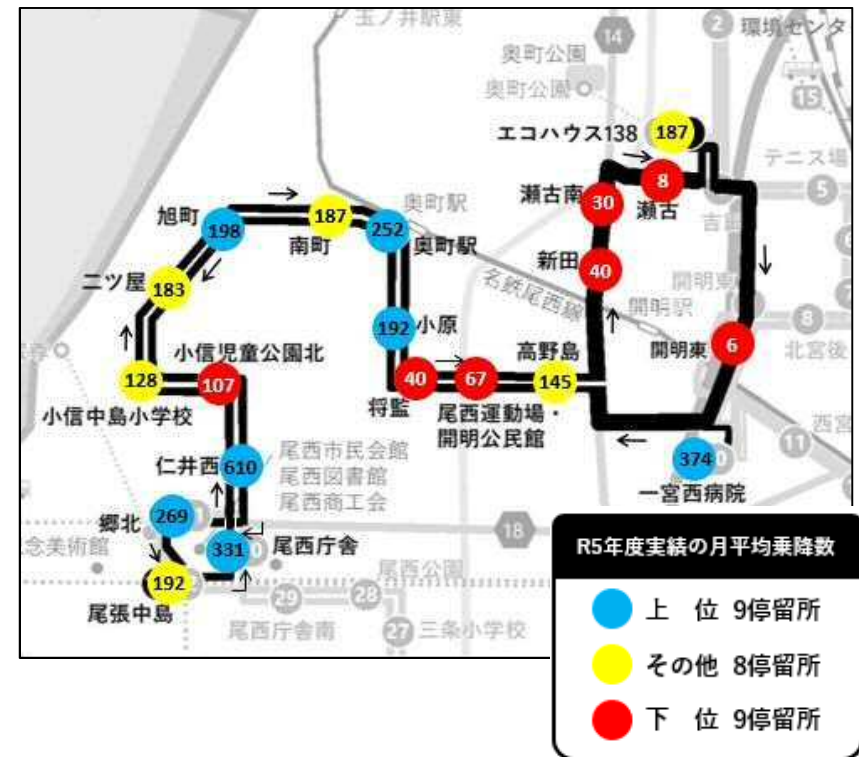
- ・尾西方面から一宮西病院へのアクセス改善。
- ・1便1時間のパターンダイヤ
- ・現行の9便から10便に1便増便が可能

○デメリット

- ・尾西方面からエコハウス138へ行くには、一宮西病院バス停で一宮コースに乗り換える必要があり、所要時間、運賃が大幅に増える

■意見交換による課題

- ・エコハウス138バス停はそれなりに利用実績（右図参照）があるため、利用目的がわからない状況で、案①か案②のどちらが良いかは決められない
⇒エコハウス138バス停利用者の乗降調査が必要
- ・開明駅に乗り入れるルートを要望
- ・起地区をルートに入れた方が、利便性は高まるのではないか
- ・バス停の名前を商業施設名（『仁井西』⇒『ピアゴ尾西店前』等）にしたり、「一宮西病院行き」にして協賛金を募れないか



■今後について

- 上記意見を参考に、名古屋大学や名鉄バスと協議しながらルート案等を修正し、後日住民懇談会にて意見交換を実施予定（日程は未定）
- 2026年4月から新ルートでの運行を目標に関係連区と引き続き調整・協議を進める

■光明寺線

延伸のメリット

- ・138タワーパークや総合体育館から最寄りの鉄道駅であるJR木曾川駅へのアクセス向上
- ・地域間幹線系統への位置付けが可能（国の補助対象路線）

延伸に向けて解決すべき課題（名鉄バスとの協議）

- ・道路事情：木曾川駅に接続する交差点が狭く（右図）、中型バスでの運行が困難
⇒道路拡幅が必要
路線延伸による定時性確保の課題 ⇒運行遅延、インターバルの確保
- ・車両問題：一方、小型バスで運行すると、総合体育館からの乗客を吸収することが困難
⇒積み残しの発生
- ・運賃問題：利用者の乗車区間が短くなるため、利用者数に変化がない場合は、運賃収入が減少し、市の赤字補填額も増加する可能性がある
⇒地域間幹線系統への位置付けにより国の補助対象となれば補填可能か



■丹陽線

延伸のメリット

- ・丹陽地域から最寄りの鉄道駅であるJR稲沢駅へのアクセス向上
- ・地域間幹線系統への位置付けが可能（国の補助対象路線）

延伸に向けて解決すべき課題（稲沢市、名鉄バスとの協議）

- ・道路事情：降雨時に九日市場のアンダーパス（右図A）が通行止めとなることや、その先の慢性的な交通渋滞による定時性確保の課題 ⇒運行遅延、インターバルの確保
- ・運賃問題：利用者の乗車区間が短くなるため、利用者数に変化がない場合は、運賃収入が減少し、自治体の補助金で下支えが必要となる可能性がある
⇒地域間幹線系統への位置付けにより国の補助対象となれば補填可能か
- ・稲沢市事情：稲沢市の負担も発生する可能性があるうえ、稲沢市民（下津地域）（右図B）の丹陽線利用の需要が見込めず、両市で本事業を名鉄バスに働きかけるメリットがない
⇒一宮市単独でも進めていくのかどうかの検討が必要
- ・その他：他自治体からは、名鉄犬山線（岩倉・西春・上小田井）への延伸についても要望があり、自治体間の調整が必要



一宮おでかけバス手形の取扱いについて(2025年度)

1 概要

2025年4月～2026年3月の期間に、市内のすべてのバス路線で利用できる一日乗車券「一宮おでかけバス手形」を引き続き販売する。

2 実施内容

- 実施期間 2025年4月1日(火)から2026年3月31日(火)まで
- 販売額 下記3のとおり
- 適用範囲 名鉄バス路線バスの市内路線
(市外に跨る場合は市境停留所からの普通運賃が別途必要。
その場合、現金支払のみ。IC乗車券での精算は不可。)
i-バス 全コース
- 適用日 乗車券で指定の1日のみ利用可能
- 通用時間 平 日：降車時基準で10時～16時
土・休日：終日(8月13日～15日、12月29日～1月3日含む)
- 販売場所 利用可能区間、利用可能時間内のバス車内
名鉄一宮駅バスターミナル
名古屋鉄道『CentX web チケット』内(デジタルチケット)
※市役所内での販売は廃止

3 運賃について

2024年1月18日開催の運賃料金部会において協議が調った下記の料金を、2025年度においても準用する。

- 販売額 大人：800円 (現行通り)
小人：400円 (現行通り)

4 今後の運用について【第3次公共交通計画 事業⑨】

企画切符として、2026年4月からの本格運用を目指し協議(討議)を行う。

- 例
- ・通用時間：平日の時間制限の撤廃が可能か否か
 - ・乗車区間：市域を越えて終点までの乗車を可能とするか否か
 - ・販売額：上記を可能とした場合の適正な販売額について
 - ・その他：manacaへの搭載について



チラシ



スクラッチ式(紙券)



デジタルチケット



乗車区間

「一宮おでかけバス手形」の販売結果について

【販売枚数】

■2024年4月～12月 1,584枚 前年同月（4月～12月）比 86%（258枚減）

一宮おでかけバス手形

（単位：枚）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日あたり
2013 (H25)		358	392	272	429	307	280	-	-	-	-	-	-	2,038	11.1
2014 (H26)		333	430	260	255	296	489	346	430	357	293	313	294	4,096	11.2
2015 (H27)		434	474	420	413	474	533	537	505	526	375	395	403	5,489	15.0
2016 (H28)		576	749	395	521	473	440	533	560	680	451	421	449	6,248	17.1
2017 (H29)		717	672	457	698	636	559	547	683	696	703	594	684	7,646	20.9
2018 (H30)		825	728	525	582	662	585	688	665	669	590	602	647	7,768	21.3
2019 (R01)	大人	815	785	634	586	583	709	720	716	581	554	557	294	7,534	20.6
	小人	22	37	25	59	41	12	18	25	26	17	8	6	296	0.8
	合計	837	822	659	645	624	721	738	741	607	571	565	300	7,830	21.4
2020 (R02)	大人	131	128	194	206	185	175	308	252	162	141	167	154	2,203	6.0
	小人	2	1	1	3	4	4	8	17	4	1	1	8	54	0.1
	合計	133	129	195	209	189	179	316	269	166	142	168	162	2,257	6.2
2021 (R03)	大人	195	171	146	160	162	143	225	182	197	155	123	156	2,015	5.5
	小人	4	2	3	8	5	0	9	13	3	7	6	7	67	0.2
	合計	199	173	149	168	167	143	234	195	200	162	129	163	2,082	5.7
2022 (R04)	大人	227	248	173	178	180	245	304	190	180	139	197	174	2,435	6.7
	小人	8	14	13	2	6	10	17	4	3	2	2	2	83	0.2
	合計	235	262	186	180	186	255	321	194	183	141	199	176	2,518	6.9
2023 (R05)	大人	273	232	161	174	135	155	240	211	221	210	180	238	2,430	6.6
	小人	3	5	3	2	8	2	4	3	10	4	3	8	55	0.2
	合計	276	237	164	176	143	157	244	214	231	214	183	246	2,485	6.8
2024 (R06)	大人	285	180	178	157	134	153	155	155	143	-	-	-	1,540	5.6
	小人	3	5	12	5	7	2	4	3	3	-	-	-	44	0.2
	合計	288	185	190	162	141	155	159	158	146	-	-	-	1,584	5.8

※参考：i-バス1日乗車券

■2024年4月～12月 309枚 前年同月（4月～12月）比 97%（11枚減）

コミュニティバス専用1日乗車券

（単位：枚）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日あたり
2013 (H25)		-	-	-	-	-	-	58	57	55	41	34	54	299	1.7
2014 (H26)		83	75	77	62	87	41	78	83	36	49	39	62	772	2.2
2015 (H27)		81	81	81	111	83	101	108	53	82	65	80	85	1,011	2.8
2016 (H28)		60	58	60	45	43	47	36	20	77	39	41	59	585	1.6
2017 (H29)		37	25	55	42	79	66	42	53	43	67	55	47	611	1.7
2018 (H30)		47	57	53	38	54	58	54	67	54	43	40	52	617	1.7
2019 (R01)	大人	31	43	46	54	55	60	62	50	63	45	25	25	559	1.6
	小人	2	0	0	9	0	3	0	1	1	3	0	0	19	0.1
	合計	33	43	46	63	55	63	62	51	64	48	25	25	578	1.6
2020 (R02)	大人	16	25	39	53	37	36	63	34	39	47	28	40	457	1.3
	小人	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0
	合計	16	26	39	53	37	36	63	34	39	47	28	40	458	1.3
2021 (R03)	大人	30	17	27	27	33	22	37	30	44	31	38	22	358	1.0
	小人	0	0	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	5	0.0
	合計	30	17	27	27	34	22	38	31	46	31	38	22	363	1.0
2022 (R04)	大人	37	25	41	27	45	34	39	34	40	27	29	28	406	1.1
	小人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.0
	合計	37	25	41	27	45	34	39	34	40	27	30	28	407	1.1
2023 (R05)	大人	35	29	31	28	26	24	29	50	66	38	53	66	475	1.3
	小人	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3	0.0
	合計	36	29	31	28	26	24	29	50	67	39	53	66	478	1.3
2024 (R06)	大人	43	25	22	23	37	35	42	35	39	-	-	-	301	1.1
	小人	3	0	1	0	2	0	0	0	2	-	-	-	8	0.0
	合計	46	25	23	23	39	35	42	35	41	-	-	-	309	1.1

■ 概要

バスのデジタルチケット購入・タクシーの予約・最適ルートの検索など、移動に関する機能をMaaSサイトに集約。名古屋鉄道のエリア版MaaSアプリ『CentX』との接続により、スマホを使って市内をスムーズに移動できる、お出かけをもっと便利に、もっと自由にするサービス

■ 運用開始日

2024年11月1日（金）

■ イッテミーヤの機能 ※インストール不要

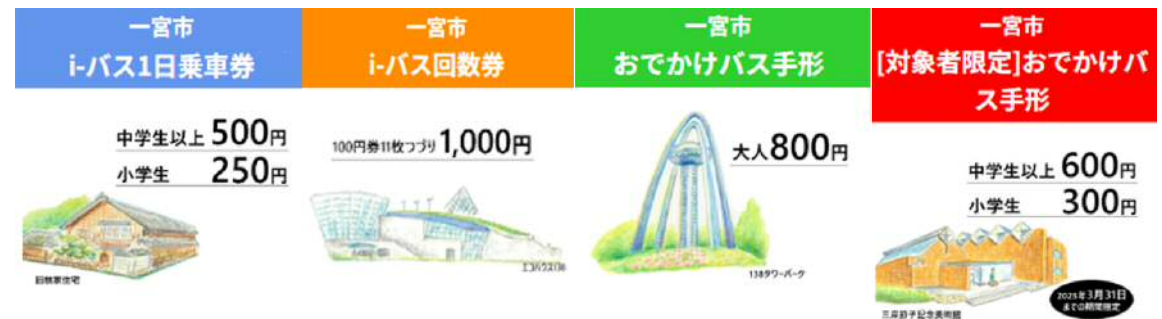
- ・バスのデジタルチケットを24時間いつでもどこからでも購入
- ・i-バスミニやタクシーの予約
- ・i-バス、名鉄バスの運行状況をリアルタイムで確認
- ・目的地までの最適ルートや移動手段の検索 など



(サイトイメージ)

■ 購入できるデジタルチケット

- ・i-バス1日乗車券：大人500円／小学生250円
- ・i-バス回数券：100円券11枚綴り 1,000円
- ・一宮おでかけバス手形：大人800円
- ・【小学生・U18/シルバー限定】一宮おでかけバス手形：大人600円／小学生300円（65歳以上および18歳未満の方が対象）



(デジタルチケットイメージ)

■ 【小学生・U18/シルバー限定】一宮おでかけバス手形の限定特典（2025年3月31日まで）

- ・「一宮おでかけバス手形」を200円引き（小学生は100円引き）で購入可能
- ・手形の提示で「エコハウス138」、「ゆうゆうのやかた」、「一宮市温水プール」の利用料が割引

新たな移動手段導入に向けたルールづくり（素案）

【第3次一宮市公共交通計画 事業⑫】

新たな移動手段の基本方針（案）

- 既存の公共交通との競合を避けること（既存公共交通が充足していない路線、エリア）
- 地域の移動ニーズと合っていること（当該地域の合意が必要。一部住民の要望によるものは対象外）

導入手順（案）（1/3）

【STEP 1】 協議会の設立、 導入検討

①地域交通協議会の設立

地域公共交通を新しく導入する又は、既存コミュニティバスを見直す取り組みを進めるため、地域の皆さんが主体となって取り組む地域交通協議会を設立する。

②地域によるニーズ把握

地域住民に対して調査等を行い、地域の課題やニーズ等を把握する。
市は①②の支援を行う。

【STEP 2】 既存交通 サービス評価

①既存交通サービスの評価

- 1) 既存公共交通が運行している場合
 - ・利用者数、収支率、地域の外出行動のニーズとの相違など
- 2) 既存公共交通が運行していない場合
 - ・既存公共交通の見直しでのカバー可否など

※既存公共交通の見直し
で対応が可能な場合

既存公共交通の見直し

※既存公共交通で対応ができない場合や、既存公共交通が無い場合

【STEP 3】 運行計画 の検討

新たな移動手段導入に向けたルールづくり（素案）

【第3次一宮市公共交通計画 事業⑫】

導入手順（案） （2/3）

【STEP 3】 運行計画の 検討・作成

①地域公共交通システムの選択

- 地域のニーズに合った**公共交通システムを選択**し、具体的な**ルートや停留所の検討**を行います。
 - ・コミュニティバス、デマンドタクシー、自家用有償運送など

②走行環境の把握

- 市や事業者の協力を得て、ルート上の道路幅員や交通規制など道路交通環境の把握を行い、安全に**走行可能な環境**かどうかの**確認**を行います。
- 乗降場所**の安全性や近隣住民等の**合意**が得られるか等の確認を行います。
- 所管の**警察署**による**確認**を行います。

③サービス水準の検討

- 協議会、一宮市の2者、又は交通事業者を含めた3者で協議し、**運行内容を検討**します。
 - ・運行形態、運賃、車両、運行時間帯、その他の収入（地域負担金・企業協力金）など
- 運行内容、需要をもとに、**目標利用者数**や**収支率**等を**設定**します。
 - ・目標利用者数、運賃収入、その他収入、運行経費、収支率、など

④住民の合意形成

- 地域交通協議会を中心に、運行計画について**合意形成**します。

⑤運行計画の作成

- 市は、地域交通協議会と運行事業者と確認・調整しながら、**運行計画書を作成**します。

⑥公共交通会議における協議・承認

市は各手順の検討に係る支援を行います。

【STEP 4】 運行の準備

新たな移動手段導入に向けたルールづくり（素案）

【第3次一宮市公共交通計画 事業⑫】

導入手順（案） (3/3)

【STEP 4】 運行の準備

① 運行事業者の選定

- 事業者の選定にあたっては、公平性を保つため、市が必要に応じて公募を行います。

② 運営・運行体制の構築

- 実施体制、連絡体制、各主体の役割分担、実施スケジュール、周知計画、利用促進計画について検討を行い、運営・運行体制を構築します。
- 必要に応じて、地域交通協議会、一宮市、交通事業者など関係者間で**協定書**を締結します。

③ 事業許可申請書の作成提出・許可

- 事業者は、新しく導入する地域公共交通を運行するため、事業許可申請書を作成し、国土交通省に提出し、**運行の許可**を受けます。

④ 車両の調達

- 地域交通協議会、一宮市、交通事業者など関係者間で協議し、運行に必要な**車両を調達**。

⑤ 停留所の設置

- 地域交通協議会が中心となり、**設置場所**を関係者と**調整**。
- 必要に応じて占用許可をとり、事業者は**停留所**を制作・**設置**。

⑥ 利用環境向上に向けた取組、周知

- 地域交通協議会、一宮市、交通事業者が連携し、利便性の高い運行ダイヤの最終検討、時刻表の作成を行います。
- 地域交通協議会を中心に、一宮市の協力のもと、**運行開始の周知**を行います。

市は各手順の検討に係る支援を行います。

【STEP 5】 運行の実施

2025（令和 7）年度一宮市バス運行業務事業者選定結果について

1. 業 務

○iーバス運行業務(A)

「一宮コース」「尾西北コース」「尾西南コース」「木曾川・北方コース」の 4 コース

○iーバス運行業務(B)

「千秋町コース」「大和町・萩原町コース」の 2 コース

2. 業務期間

2025（令和 7）年 4 月 1 日（火曜日）から 2026（令和 8）年 3 月 31 日（火曜日）まで

※現在、2026（令和 8）年 4 月から新ルートでの運行を目指して iーバスの見直しを進めているため、2025（令和 7）年度単年度を対象とした入札を実施

3. 選定方法

総合評価一般競争入札

4. 選定委員会（企画提案者によるプレゼンテーション及び委員によるヒアリング）

委 員：一宮市バス運行業務事業者選定委員会委員 7 名

日 時：2024（令和 6）年 11 月 29 日（金曜日） 午後 2 時 30 分から

場 所：一宮市役所本庁舎 7 階 701 会議室

5. 選定事業者

○iーバス運行業務（A）

業者名：名鉄バス株式会社 一宮営業所（現行に同じ）

所在地：一宮市白旗通 3 丁目 5 番地 1

○iーバス運行業務（B）

業者名：スイトトラベル株式会社（現行に同じ）

所在地：岐阜県大垣市旭町 3 丁目 11 番地

6. その他（2025（令和 7）年度から対応するもの）



- ・交通系 IC カードが全路線で利用可能【第 3 次公共交通計画 事業④】
- ・一宮市版 MaaS サイト「イッテミーヤ」から、運行中の車輛位置の確認が全路線で可能

現状

- ・市役所窓口での売上金については、一時的に各窓口の金庫で保管
- ・尾西庁舎、木曽川庁舎窓口での売上金については、月1回地域交通課職員が現金を受け取りに行く
- ・売上金は、名鉄バスへ引き渡すまでは地域交通課の金庫で保管
- ・市役所窓口での売上は、**月2、3件**程度

デジタルチケットの販売を機に、市役所窓口での紙券販売を中止

券種	販売場所		
	～2024年10月31日	2024年11月1日～ 2025年3月31日（現行）	2025年4月1日～
一宮 おでかけ バス手形	・利用可能区間、利用可能時間内のバス車内	・利用可能区間、利用可能時間内のバス車内	・利用可能区間、利用可能時間内のバス車内
	・名鉄一宮駅バスターミナル（一宮出札）	・名鉄一宮駅バスターミナル（一宮出札）	・名鉄一宮駅バスターミナル（一宮出札）
	・ 一宮市役所（本庁舎・尾西庁舎・木曽川庁舎）	・ 一宮市役所（本庁舎・尾西庁舎・木曽川庁舎） ・ 名古屋鉄道『CentX webチケット』内（デジタルチケット）	・ 名古屋鉄道『CentX webチケット』内（デジタルチケット）
回数券	・利用可能区間、利用可能時間内のバス車内	・利用可能区間、利用可能時間内のバス車内	・利用可能区間、利用可能時間内のバス車内
	・名鉄一宮駅バスターミナル（一宮出札）	・名鉄一宮駅バスターミナル（一宮出札）	・名鉄一宮駅バスターミナル（一宮出札）
	・ 一宮市役所（本庁舎）	・ 一宮市役所（本庁舎） ・ 名古屋鉄道『CentX webチケット』内（デジタルチケット）	・ 名古屋鉄道『CentX webチケット』内（デジタルチケット）
一日乗車券	・利用可能区間、利用可能時間内のバス車内	・利用可能区間、利用可能時間内のバス車内	・利用可能区間、利用可能時間内のバス車内
		・ 名古屋鉄道『CentX webチケット』内（デジタルチケット）	・ 名古屋鉄道『CentX webチケット』内（デジタルチケット）

概 要	市内在住の小中学生が、春休みに市コミュニティバス「i -バス」に無料で乗車できるもの
目 的	小中学生が i -バスを利用するきっかけを作り、日常の移動手段の一つとして活用できることを知ってもらうことで、i -バスの利用促進及び将来需要の拡大を図る
対 象 路 線	i -バス全 6 コース（一宮、尾西北、尾西南、木曾川・北方、千秋町、大和町・萩原町の各コース）
実 施 期 間	令和 7 年 3 月 25 日（火）から 4 月 8 日（火）まで（15日間）の終日【小中学校の春休み期間】
対 象 者	市内在住の小中学生 約30,000人
乗 車 方 法	市（地域交通課）が交付する「i -バス フリーパス」を降車時にバス運転手へ提示   ※パスは、市立小中学校の各校に児童生徒の人数分を配布（2月14日（金）開催の校長会議で説明） ※市立校以外の児童生徒は、市ウェブサイトを受付しパス等を郵送
効 果 測 定	①バス運転士により、便ごとにパス利用者数をカウント ②電子申請による利用者アンケートを実施 （パスの裏面に、アンケート入力フォームに誘導する二次元コードを掲載）
周 知	広報一宮 3 月号（2 月下旬発行）、地域交通課ウェブサイト、保護者向けチラシ
今後の検討	・ i -バス路線が走っていないエリアへの対応（路線バス、i -バスミニ等） ・春休み以外の長期休業期間（夏休み、冬休み）への拡充の検討

回覧

町内の皆さまへ

iーバス木曾川・北方コース迂回運行について

日頃は、市政にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
 水道工事に伴い、下記の日程でiーバス木曾川・北方コースの一部が交通規制となりますので、期間中は下図のとおり迂回運行を行います。
 ご利用される方には大変ご迷惑をおかけしますが、安全運行に努めて参りますので、ご理解ご協力のほどよろしく申し上げます。

記

迂回運行期間 令和6年10月1日（火）～令和7年3月14日（金）

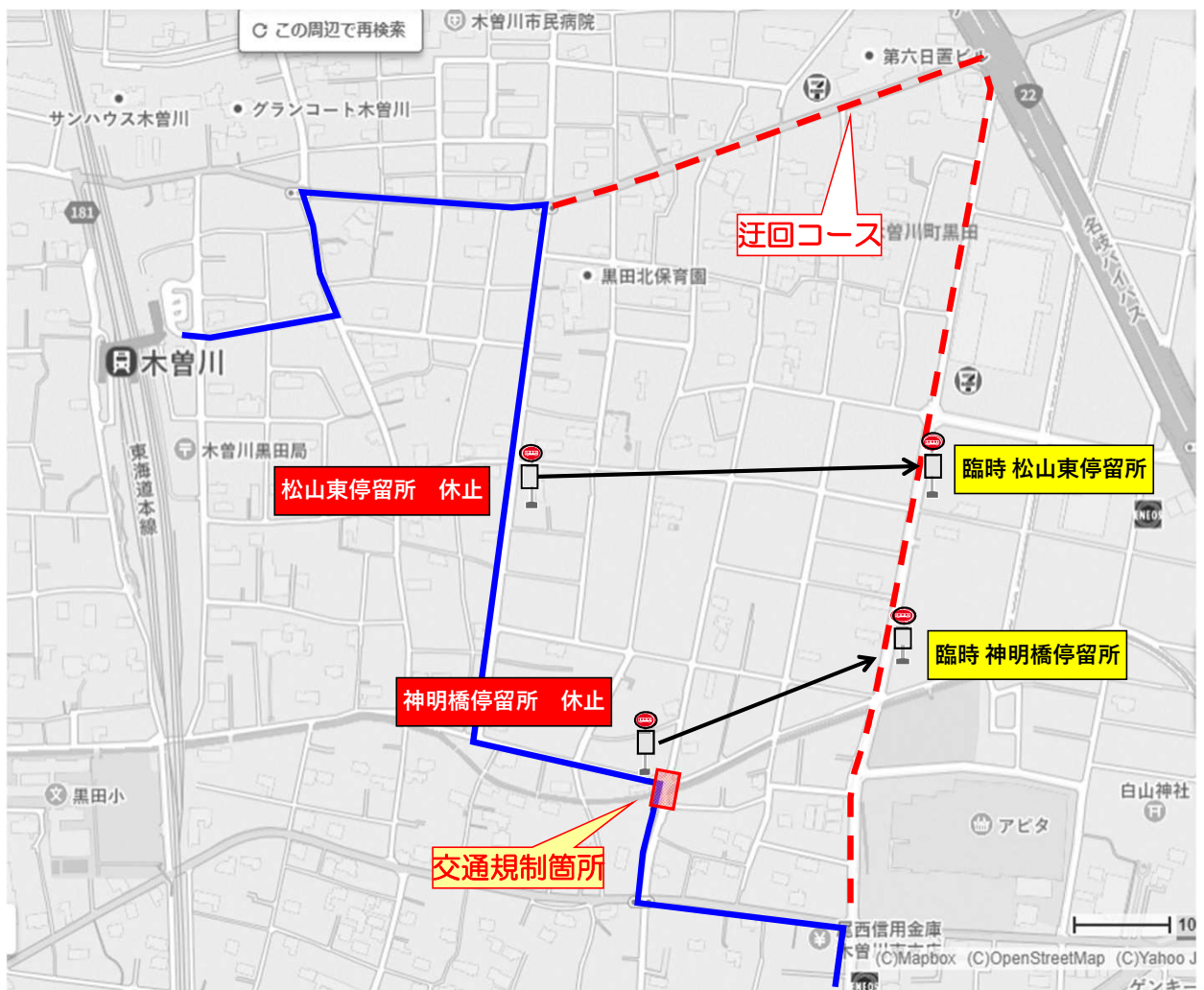
迂回する停留所 松山東、神明橋

迂回コース 下図をご参照ください。

※休工日や工事状況により交通規制を解除する場合がありますが上記期間中は迂回にて対応させていただきます。

また、迂回により発着時刻が多少遅れる場合がありますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

■ 迂回コース ——— 線：通常コース - - - 線：迂回コース



【問い合わせ先】一宮市役所まちづくり部地域交通課 電話：0586-28-8955